

第6回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

「車いす使用者の部」開催報告

平成24年4月29日（祝・日）、神戸市須磨区のユニバー記念競技場（補助競技場）において、のじぎくスポーツ大会（車いす使用者の部）が開催されました。毎年恒例の「昭和の日」に開催されており、今日も絶好のお天気となりました。

選手140名と役員等138名合計278名選手団の参加、スタッフとして兵庫県職員指揮のもと一般財団法人兵庫陸上競技協会、啓明学院陸上部、兵庫障害者フライングディスク協会有志約15名とひょうご障害者スポーツ指導員21名が大会を支える活動を実施しました。この内7名は、神戸市地域委員会（総数26名）からの参加でした。

役割は、「招集・誘導」、「競技審判ほか」のほか「開閉会式時の国旗・県旗・市旗掲揚降納」や「開閉会式時のCD操作」もありました。担当は、「受付係」、「スラローム競技審判」、「フライングディスク」、「50m・100m・200m・800m・1500m・5000m」のトラック競技、「砲丸投げ・ジャベリックスロー・ピーンバッグ投げ・ソフトボール投げ」のフィールド競技です。初めての参加の方も、何回も参加されている方もおられます。各指導員が、それぞれの場所で兵庫陸協の方の指示を仰ぎながら共に協力して活動しました。

役割は、「招集・誘導」、「競技審判ほか」のほか「開閉会式時の国旗・県旗・市旗掲揚降納」や「開閉会式時のCD操作」もありました。担当は、「受付係」、「スラローム競技審判」、「フライングディスク」、「50m・100m・200m・800m・1500m・5000m」のトラック競技、「砲丸投げ・ジャベリックスロー・ピーンバッグ投げ・ソフトボール投げ」のフィールド競技です。初めての参加の方も、何回も参加されている方もおられます。各指導員が、それぞれの場所で兵庫陸協の方の指示を仰ぎながら共に協力して活動しました。

50m走選手を競技場所に誘導しながら、「調子はどうですか？」と話しかけると、「あまり練習していないけど、がんばるよ！」と答えてくれます。「スラロームで、金メダル取ったよ！」と話し始めると、笑みがこぼれます。

今年初めて参加された指導員の方も、ベテランの指導員の方とペアで分担の役割をこなしていると、これまで経験したことがない役割であっても、コミュニケーションを取りながら何とかやれるものです。

ソフトボール投げで、順番待ちの選手が、「投てき台使用します」と言われて探すと、1台しかありません。お伝えすると、「わかっています。空いてからでいいですよ。横で順番待っています。」とさわやかにこたえていただきました。「投てき台が空き、さあ競技開始です。」なぜか他の選手よりうんとたくさん応援してしまいました。

障害者スポーツを「支える」指導員。本当は、新しく仲間入りされた方も、ベテランの方も、現場で味わう感動と選手達から教えられた新たな発見に、感謝しています。ありがとう。

（神戸市：古岡芳弘）



50m走のスタート前



投てき台使用のソフトボール投げ



5000m走のゴール付近